



ヤマダ会計NEWS 1月号



＜出世大名家康くんの出世パワー＞

明けましておめでとうございます。昨年は「アベノミクス」や「東京五輪決定」と何かと明るい話題がありましたが、浜松市民として忘れてはならないのが「出世大名家康くん」の活躍ではないでしょうか。「ゆるキャラグランプリ 2013」で当初首位を独走した「家康くん」、最終的には栃木県佐野市の「さのまる」に敗れ2位に終わりましたが、知名度も上がり約450種類の関連商品が生み出されるなど経済効果もあったようです。

(過去に優勝した熊本県「くまモン」の293億円以上、には到底及びませんが。)

しかし日本一を逃し、昨年末には宣言通りウナギのちょんまげを断髪、「出家大名家康くん」になってしまいました。出世パワーが宿っているはずのちょんまげを切ったら、快進撃が止まってしまうのではと不安になったのは私だけでしょうか…？

何はともあれ今年の「家康くん」の更なる活躍に期待しつつ、私たちが出世パワーに満ちた良い一年にしたいものです！ (代表 山田義之)

ダブル、トリプル…、その次の数え方って何？

今年も冬季五輪、ソチオリンピックが開催されますね。日本選手の活躍と国内の盛り上がりを楽しんでいます。なかでも華やかなフィギュアスケートに注目していたところ、ふと気になったことがあります。

フィギュアスケートのジャンプには、ダブルルッツ、トリプルアクセル等技の呼び方があり、これは飛び方と回転数によるのだそうです。ダブルは2回転、トリプルは3回転、とここまではわかったものの、はて4回転は、何て言うのだろうか？と。考え出したら、なんだか気になってしまい…思い切って調べてみました！

正解は、quadruple : 4重、4倍 など
発音記号/kwadrʌpəl | kwɔdrʌpəl/
クワッドラプル とのことでした。

この言葉自体、私は全く使った記憶がありませんでした。しかし調べると、接頭語の「4」を示す quad(クワッド)は、例えばスキー場で見た「高速クワッドリフト(4人乗りリフト)」の名称にも入っており、意味を知らないまま、実は使っていたようです。

こうして、普段素通りしていることに目を向けることで、自分が知らないことの多さを痛感し、改めて気づくことがあります。自らの知識欲を刺激しつつ、知る力を養いたいものだと思います。物事を知る人には感心させられるし、魅力的に感じるものです。今年も意識して知的好奇心を揺り動かし、色々なものに目を向けていくことを抱負にしてみたいかがでしょう。周囲の反応が一味違う年になるかもしれません。

「4回転ジャンプ？ ああ、クワッドラプルスピンね。」…なんて嫌味に感じませんか。使いどころはおまかせします。(吉岡正平)

今さら聞けない“経済用語”【為替介入】

自国通貨の為替相場を安定させるために、通貨当局が外国為替市場において通貨の売買を行なうこと。急激な為替相場の変動は自国の企業経営、ひいては経済に悪影響を及ぼすため介入を実施することがある。日本では財務大臣の指示で日本銀行が実務を遂行する。ひとつの国や地域の通貨当局が単独で実施する場合には「単独介入」、複数の国や地域の通貨当局が協議の上で同時または連続して介入を行なう場合は「協調介入」という。

パワーアップして今年もやります！ 経営者講座

H25年の『基礎』講座(3月～11月開催)に多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

依然として厳しい経営環境の中、会社の将来や資金繰り等々悩みが絶えない経営者の方が多いと思います。その不安や悩みを解消するためには、今の経営状態を客観的に把握し、未来に向けて、経営の方向性を具体的にすることが重要です。

ヤマダ会計では、中小企業の存続発展のために、税務だけでなく、「経営計画の策定」の支援にも力を入れています。

経営者のみなさまには、経営計画の策定を通して、自社の将来像を描き直し、現状の改善と今後の課題に取り組んでいただきたいと考えております。

経営者『基礎』講座は、改善・課題に取り組んでいただくために、「いまさら聞けない！」けど「経営者として知っておかなければ！」ということを分かりやすくお伝えしています。

H26年は、更に『基礎』講座で学んだことを踏まえ、実践的な経営計画の作成ができることを目的とした、少人数での『上級』講座も開催します。基礎講座・上級講座と年間通して受講していただくことで基礎経営力を養える内容になっています。

もちろん、ご興味のある講座のみ受講することも可能です。みなさまのご参加お待ちしております。(リーダー 田中菊美)

『基礎』講座	
3月26日(水)	まずは「お客」を決めよう！ ～ドロッカーに学ぶ戦略マーケティング～
4月23日(水)	会社が払う税金って何があるの？ ～いまさら聞けない税金の種類～
5月28日(水)	会社の数字の読み方 ～いまさら聞けない貸借対照表・損益計算書の見方～
6月25日(水)	会社を黒字倒産させないためには ～いまさら聞けないキャッシュ・フロー計算書の見方～
7月30日(水)	会社の数字をもっと活用してみよう ～いまさら聞けない経営分析・入門～
8月27日(水)	会社をよく知ってもらうためには ～いまさら聞けない金融機関との上手なつきあい方～
9月24日(水)	経営計画ってどうして必要なの？ ～いまさら聞けない経営計画作成・入門～
『上級』講座 ※詳しくはお問合わせください	
10月29日(水)	経営計画作成・前編
11月26日(水)	経営計画作成・後編

『ヤマダ会計データ』でみる黒字企業

「平成25年は景気回復の年だったというけど、大企業だけでしょ？うちら中小はとてどもとてども…」と思っている社長さん、「他はもっと良かったりするの？」と他社が気になりますか？毎年恒例、ヤマダ会計顧問先様の黒字割合のご案内です。…黒字の会社、実際、増えています！

今年もまた、新たな気持ちで昨年以上の「目標」をたて、ぜひ実現目指して頑張りましょう！

右表：H25/7～12月に申告した法人 ※黒字の定義：経常利益がプラス
国税庁事績：H24/4～H25/3月までに終了した事業年度の申告

業種	黒字割合
建設業	60.9%
サービス業	57.1%
製造業	64.3%
卸小売業	64.7%
全業種	61.0%
国税庁事績	27.4%

質問・疑問は、各担当者までご連絡ください。